

修了評価の方法

評価基準作成者： 藤田 良子

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none">1 出題範囲<ul style="list-style-type: none">・ 「テキスト 1 第 1 章 介護における尊厳の保持・自立支援」から「テキスト 4 第 3 章 総合生活支援技術演習」までとする。・ テキスト 1 「介護福祉サービスの理解」45 ページから 305 ページまで・ テキスト 2 「コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解」3 ページから 194 ページまで・ テキスト 3 「こころとからだのしくみ生活支援技術 1」3 ページから 147 ページまで・ テキスト 4 「こころとからだのしくみ生活支援技術 2」3 ページから 291 ページの間で出題する。2 出題形式 二肢択一形式問題・選択肢問題・記述式問題・線引き問題とする。3 出題数 二肢択一問題 2 問 (配点 20 点) 選択肢問題 2 問 (配点 20 点) 記述式問題 3 問 (配点 50 点)・線引き問題 1 問 (配点 10 点) 全問正解：100 点満点4 合否判定基準 60 点以上5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none">・ 担当講師による補習のうえ、修了評価当日に再評価を実施する。 補習費用：3,000 円、再評価費用：1,000 円・ 再評価の試験の回数は最大 4 回まで実施する。 なお、評価試験により不合格となった者は未修了者扱いとなるため注意すること。
------------	--